

AQUAZOO LÖBBECKE MUSEUM

今月は、アクアツォー・レーベッケ博物館をご紹介します。見本市会場へ向かうUバーンで見本市北入り口駅の四つ手前に“ノルド・パーク／アクアツォー

Nordpark/Aquazoo”という駅がありますが、見本市会場方向に向いて左側の立派な公園入口の奥にこのアクアツォー・レーベッケ博物館があります。この博物館は、小動物園と自然史博物館の仕事を同時に果たすデュッセルドルフ市の運営する研究所の一つです。歴史は大変古く1873年に薬剤師で収集家であったテオドア・レーベッケ氏によって収集された標本の数々を私設博物館で公開したことに始まります。当時すでに彼の貝類学の標本収集はヨーロッパであったと記録されています。氏の死後すべての収集品がデュッセルドルフ市に寄贈され今日の博物館の基となりました。その後数々の変遷を経て1987年に現在のノルドパークにドイツで初めての独立した建造物を持つアクアツォー(アクアは水、ツォーはドイツ語の動物園)として建設されました。2017年9月末に大改装工事が終わりリニューアルオープンしましたが、日本の巨大な水槽を有する華やかな水族館とは違い大変こじんまりした、しかし充実した構成となっています。館内では淡水及び海水の環境で生きる魚類のほかペンギンも見られ、陸上の生物としては昆虫類、爬虫類、カワウソ等の哺乳類など広い範囲の生物が観察できます。自然史を網羅する模型展示も充実しており、数々のイベント、セミナーなどが企画されています。



少し時間のできた方は、息抜きにいかがでしょうか。



施設名：**Aquazoo Löbbecke Museum**

アクアツォー・レーベッケ・ミュージウム

住所：**Kaiserswerther Str. 380**

40474 Düsseldorf

入場料：大人 9 ユーロ

ファミリー入場券：18 ユーロ

会館時間：2017年12月23日まで10時から20時 それ以降は10時から18時

休館日：1月1日、ローゼンモンターグ(移動祭日)、5月1日、12月23、24 及び31日